はじめに　7

第1章　9条を超える同盟　15

湾岸戦争のトラウマ　イージス艦は同盟のシンボル　アフガン村とイラク村
大義なき戦争　米国の意思「アーミテージ報告」　小泉純一郎の憲法観　大
転換した米戦略　核の矛とミサイルの盾　鍵となる主体的運用　進む日米の
一体化

第2章　制服組の台頭　53

制服組の苛立ち　解禁された政治との接触　参事官制度を巡る攻防　停戦頼
りの危険海域　利用される自衛隊　つじつま合わせの法解釈　秘密文書「K
半島事態対処研究」　議論の尽きない省庁会議　逆手で進んだガイドライン
整備　動き出す安保再定義　なし崩しの合意形成　史上初の海上警備行動
自衛隊をついに認めた社会党　他国と同等の武器使用基準　想定される戦死

第3章　兵器商戦　101

航空機産業7年の空白　FSX国産開発計画　押し切られた共同開発　幻に
終わったPXL　国産エンジンの限界　ミサイル防衛構想　揺らぎ始めた武

器輸出3原則　米海軍顧問の元自衛官　日本の防衛産業　勢いづく財界の改憲論議　本格化する無人偵察機導入

第4章　改憲の水脈　135

時代を映す中曽根発言　GHQの憲法改正草案　加えられた芦田修正　反共が変えた9条解釈　超現実主義者とロマンチスト　反核の中の安保改定　イントロダクションの真の意味　持ち込まれる核　日本でも検討された核政策　寝耳に水の中曽根原案　棚上げされた改憲　岸信介からの書面　起点となった湾岸戦争　加速する同盟強化

第5章　同盟の島、沖縄　177

密使、若泉敬　「戦後は終わっていない」　動き出した沖縄返還　条件とされたベトナム戦争支持　米軍統治下でのデモ行進　核抜き本土並み　空洞化する事前協議　核持ち込みの秘密合意　そのまま残った米軍基地　少女暴行で火がついた反基地感情　沖縄に没頭した橋本首相　宙に浮いた普天間返還進まない移設計画　同盟国としての負担　平和の代償　取引される経済振興

おわりに　231